

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	瀬戸内警察署		所在地	瀬戸内市牛窓町牛窓4780－11	
敷地面積	3,673.22 m ²		棟数	9 棟（計画記載対象 1 棟）	
延床面積	1,519.49 m ²			※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等は500㎡以上） ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	瀬戸内市を管轄区域とする警察署				
【想定される自然災害】					
予想震度 6弱		津波 —		浸水 —	
建築規制	都市計画区域外 牛窓眺望景観形成重点区域				
エネルギー使用量 （ 2017 年度 ）	電気 95,604 kwh	ガス 48 m ³	水道 580 m ³	燃料（ 灯油 ） 2,170 ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし				

1 施設内建物の概況

名 称	本館棟		
築年(西暦)	1977 年		
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階		
建築面積	404.00 m ²		
延床面積	1,242.44 m ²		
主要な用途 (室名等)	執務室 8室 325m ² 道場 1室 165m ² 会議室 2室 146m ²		
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 空調設備		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※2	－		
※耐震診断済のみ ※3	－		
長期使用の適否 ※4	適		
※5	適		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消防設備(自動火災報知設備)		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物は、修繕・改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館棟	設備等の定期更新を実施する。

3. 施設全体のスケジュール

(概 要)

劣化の進んだ設備等について、順次更新を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)		非常用発電設備						屋上		
									外壁		
									照明LED化		

4. 概算費用

総額1億円(設備等の更新)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R5.3	本館棟の外壁改修のスケジュール変更
R6.3	本館棟の照明LED化を追加
R7.3	本館棟の屋上防水改修を追加